

「敦賀市池河内の

チョウ類・トンボ類採集記録」

長 田 勝

1 はじめに

福井県における鱗翅類の研究は古くから行なわれており、その歴史については下野谷・福田（1966）により概略がまとめられている。なかでも多くの論文、著書を発表した井崎（たとえば1933、1956）と、みごとな原色図譜を著した福井県博物学会（1938）の功績は大きい。

近年、下野谷、福田（前出）により鱗翅類研究の現状と展望が示され、県内の若手同好者が活発に活動しているが、鱗翅類だけにとどまらず、昆虫全般にわたり機会あるごとに調査、研究の成果を発表して頂きたいと思う。記録の集積が乏しい現在、採集記録の報告は分布を調べるうえで貴重な資料となる。

今回は1974年6月17日と同年7月22日、敦賀市谷口から池河内へ行った時のチョウ類とトンボ類の採集記録を報告する。

2 採集地域の概要

北陸トンネル敦賀側の谷口から沢ぞいに林道を進むとオニグルミ、トチノキ、カラスザンショウ、エノキなどが目につく。林道はゆるやかな登りで水たまりにはカラスアゲハ、ルリシジミが吸水に集まり、スジグロシロチョウとエゾスジグロシロチョウが次々に現われるがスジグロの方がやや多いようである。この2種の分布、食草などについてさらに詳しい調査が必要である。モンシロチョウはまったく見られない。7月には沢ぞいに飛翔するオニヤンマが多く、林がきれた明るい空間で20頭ほどの本種の群飛を観察した。林道が急な登りにかかるあたりは沢も細くなりアザミ類やイタドリ、クズなどが茂って足元が見えない。登りきった所が標高約350mの峠でササ類の群落がみごとである。ここにクロヒカゲが多産し、コサナエもみられる。コチャバネセセリの幼虫の巢も目につく。峠から池河内に下る道はスギが茂ってうす暗いが、すぐにススキを主体とした明るい草原となり左側に湿地が広がる。ここが池河内（標高約300m）で湿地は深い所では膝くらいまでもぐる。今井（1954）が「・・・蘚湿原がヨシに代られてヨシ原になって更にこれがハンノキに征伏されてハンノキ原になりつつある場所もある・・・」と記しているように現在、植生はハンノキが優勢でこれを食樹とするミドリシジミが7月に多数発生する。湿地の周辺部は水田および畑地でイネ、ジャガイモ、ダイズなどが栽培されており、ここではモンシロチョウが見られる。

池河内には植物地理学上、注目されるヤナギトラノオ (*Lysimachia thyrsoiflora* L.) が分布し、第四紀洪積世の遺存種であるミツガシワ (*Menyanthes trifoliata* L.) がみられる（今井1954；堀1957；寒蟬1959；渡辺1962）。この2種の植物の分布は、かつて池河内が寒冷な気候におおわれたことを示すものであろう。

尾花(1969)はルリボシヤンマ(*Aeschna juncea* LINNE)の研究から東北日本に広く分布する種(たとえばコサナエ, ルリボシヤンマ)の西南日本への侵入口, 逆に西南日本に分布する種(たとえばハネピロトンボ)の北方への通り道, すなわち「湖北回廊」としての池河内の性格を興味ぶかく述べている。また, このあたりはダイミョウセセリ(*Daimio tethys* MENÉTRIES)の関西型, 関東型の分布境界としても興味ある所である。草原性蝶類の代表種であるヒメヒカゲ(*Coenonympha oedippus annulifer* BUTLER)は過去に敦賀市花城(池河内の北西約8km)から記録があったが(白水1965), 現在では絶滅したと思われる。池河内にも分布すると思われるが発見されていない。本種は井崎(1956)に「敦賀市で29年7月, 西野一朗, 富士原芳久両氏により採集されたが稀」とあるが詳しい採集地は不明。福井市立郷土自然科学博物館には現在, 「54.9.14 ツルガ市K」と「31.6.5オニケ谷 井サキ」のラベルの付いた2頭の標本があるが, 1954年9月の記録は本種の発生時期からみても疑問が残る。昭和31年(1956年)6月の標本は割合新鮮である。この個体の採集地オニケ谷は小浜市下根来鬼ヶ谷のことであろう。

以前に池河内で記録されたハッチョウトンボ(*Nannophya pygmaea* RAMBUR)もその後再確認されていない。

(福井市立郷土自然科学博物館 学芸員)

I Hesperiiidae セセリチョウ科

1. *Daimio tethys* Menétriese ダイミョウセセリ (Fig. 1)

3♂ 谷口～峠 17.VI

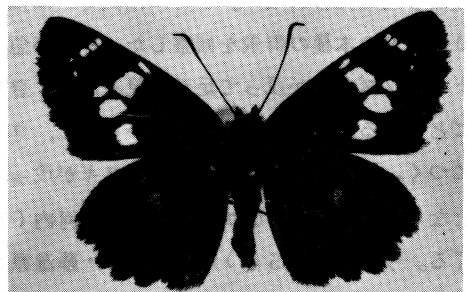
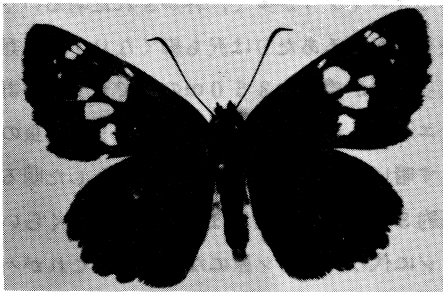


Fig. 1 とともに♂表

2. *Potanthus flavum* Murray キマダラセセリ

1♂ 谷口～峠 17.VI

3. *Ochlodes ochracea rikuchina* Butler ヒメキマダラセセリ

2♂ 谷口～峠 17.VI

4. *Thoressa varia* Murray コチャパネセセリ

3♂ 1♀ 谷口～峠 17.VI, 2♂ 谷口～峠 22.VII

5. *Isoteinon lamprospilus* C. et R. Felder ホソバセセリ
 2♂ 谷口～峠 22.VII
6. *Polytremis pellucida* Murray オオチャパネセセリ
 1♂ 谷口～峠 17.VI

II *Papilionidae* アゲハチョウ科

7. *Papilio bianor dehaani* C. et R. Felder カラスアゲハ
 3♂ 谷口～峠 22.VII
8. *Papilio maackii tutanus* Fenton
 ミヤマカラスアゲハ
 1♂ 谷口～峠 22.VII

III *Pieridae* シロチョウ科

9. *Pieris melete* Menètriès
 スジグロシロチョウ (Fig. 2 ♂表)
 9♂ 1♀ 谷口～峠 17.VI, 1♀
 池河内 22.VII
10. *Pieris napi nesis* Fruhstorfer
 エゾスジグロシロチョウ (Fig. 3 ♂表)
 8♂ 谷口～峠 17.VI
11. *Colias erate poliographus* Mct-shulsky モンキチョウ
 1♂ 池河内 22.VII

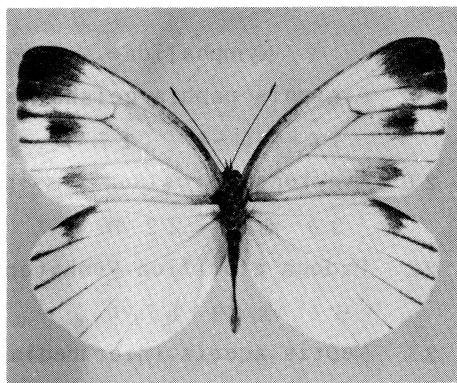


Fig. 2

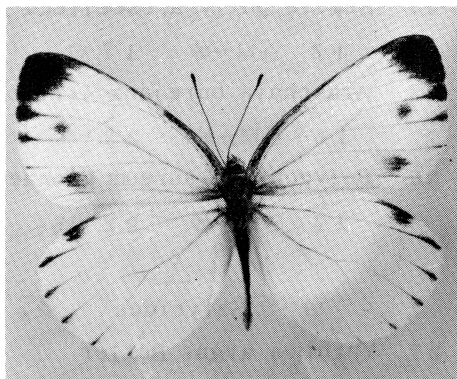


Fig. 3

- IV *Lycaenidae* シジミチョウ科
12. *Ussuriana stygiana* Butler
 ウラキンシジミ
 1♂ 1♀ 峠 17.VI
13. *Japonica lutea* Hewitson
 1♀ 谷口～峠 17.VI
14. *Antigius attilia* Bremer ミズイロオナガシジミ
 1♀ 谷口～峠 17.VI, 1♂ 谷口～峠 22.VII
15. *Iratsume orsedice* Butler ウラクロシジミ
 1♂ 峠 17.VI
16. *Neozephyrus taxila japonicus* Murray ミドリシジミ

多数♂♀ 池河内 2 2.VII ♂はやや時期おくれ, ♀は新鮮。シロネ (*Lycopus lucidus*)の花で吸蜜。

17. *Taraka hamada* Druce ゴイシシジミ
1 ♂ 峠 1 7.VI
18. *Lycaena phlaeas daimio* Seitz ベニシジミ
3 ♂ 1 ♀ 池河内 2 2.VII
19. *Celastrina argiolus labonides de l'Orza* ルリシジミ
4 ♂ 谷口~峠 1 7.VI, 1 ♂ 谷口~峠 2 2.VII

v *Nymphalidae* タテハチョウ科

20. *Argynnis paphia geisha* Hemming ミドリヒョウモン
1 ♂ 谷口~峠 1 7.VI
21. *Argyronome ruslana lyssipe* Janson オオウラギンスジヒョウモン
3 ♂ 池河内 2 2.VII
22. *Ladoga glorifica* Fruhstorfer アサマイチモンジ
1 ♂ 池河内 1 7.VI
23. *Neptis aceris intermedia* W. B. Pryer コミスジ
1 ♂ 谷口~峠 2 2.VII
24. *Neptis phillyra excellens* Butler ミスジチョウ
1 ♂ 谷口~峠 1 7.VI
25. *Araschnia burejana strigosa* Butler サカハチチョウ
1 ♂ 谷口~峠 2 2.VII
26. *Polygonia c-aureum* Linnaeus キタテハ
1 ♂ 谷口~峠 2 2.VII

VI *Satyridae* ジャノメチョウ科

27. *Ypthima argus* Butler ヒメウラナミジャノメ
4 ♂ 谷口~峠 1 7.VI
28. *Lethe diana* Butler クロヒカゲ
6 ♂ 2 ♀ 峠 1 7.VI
29. *Neope goschkevitschii* Menetries サトキマダラヒカゲ
(Fig. 4 左: ♂表, 右: 同裏)
1 ♂ 峠 (標高約 350 m) 1 7.VI

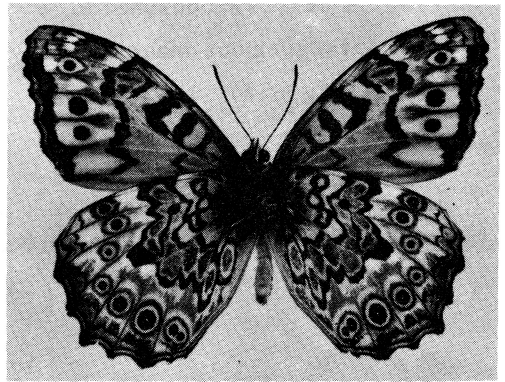
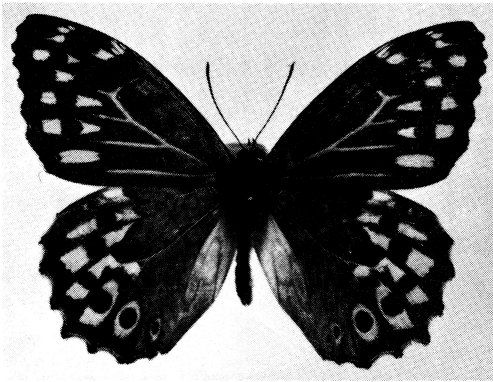


Fig. 4 左: ♂表, 右: 同表

I Agrionidae イトトンボ科

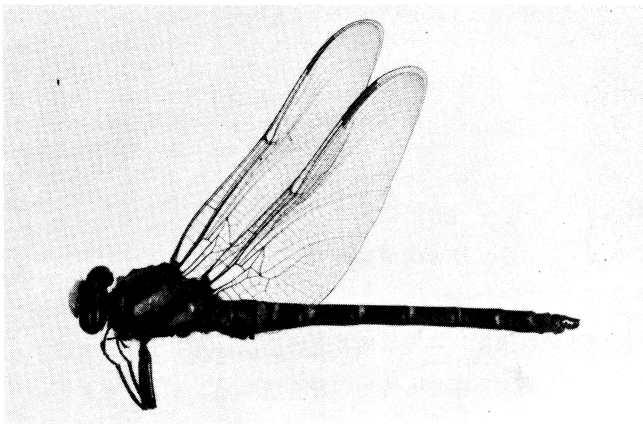
1. *Ceriagrion melanurum* Selys キイトトンボ
 2 ♂ 池河内 2 2.VII

II Calopterygidae カワトンボ科

2. *Calopteryx atrata* Selys ハグロトンボ
 1 ♂ 谷口~峠, 2 ♀ 池河内 ともに 2 2.VII
3. *Calopteryx cornelia* Selys ミヤマカワトンボ
 1 ♂ 谷口~峠 1 7.VI
4. *Mnais strigata* Selys カワトンボ
 1 ♂ 谷口~峠 1 7.VI

III Petaluridae ムカシヤンマ科

5. *Tanypteryx pryeri* Selys ムカシヤンマ



(Fig. 5 ♂)

2 ♂ 谷口~峠

1 7.VI

Fig. 5

IV Gomphidae サナエトンボ科

6. *Anisogomphus maackii* Selys

ミヤマサナエ

(Fig. 6 ♂) 1 ♂ 谷口～峠 2 2.VII

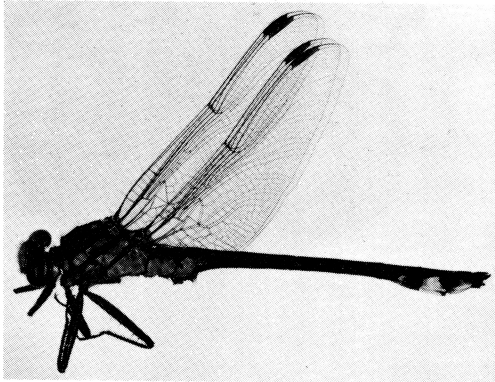


Fig. 6

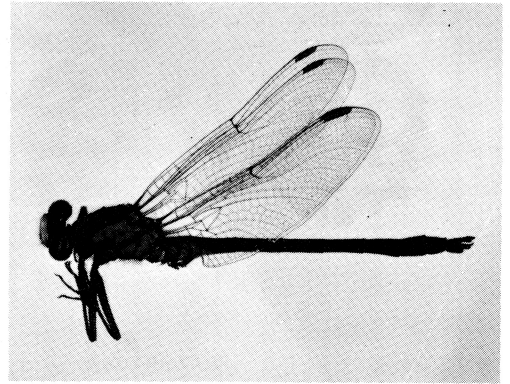


Fig. 7

7. *Trigomphus malampus* Selys

コサナエ

(Fig. 7 ♂) 3 ♂ 1 ♀ 峠～池河内 1 7.VI

v Cordulegasteridae オニヤンマ科

8. *Anotogaster sieboldii* Selys

オニヤンマ

3 ♂ 谷口～峠 2 2.VII

VI Libellulidae トンボ科

9. *Orthetrum japonicum japonicum* Uhler

シオヤトンボ

1 ♀ 谷口～峠 1 7.VI

10. *Orthetrum triangulare melania* Selys

オシオカラトンボ

1 ♀ 谷口～峠 1 7.VI, 1 ♂ 1 ♀ 谷口～峠 2 2.VII

11. *Sympetrum frequens* Selys

アキアカネ

1 ♂ 谷口～峠 1 7.VI, 1 ♀ 谷口～峠 2 2.VII

12. *Sympetrum eroticum eroticum* Selys

マユタテアカネ

1 ♀ 谷口～峠 2 2.VII

文 献

藤岡知夫(1972) 図説日本の蝶 ニュー・サイエンス社

福井県博物学会(1938) 原色福井県昆虫図譜

寒蟬義一(1959) 敦賀市池河内植物採集記 福井県博物同好会誌 (6): 29-30

堀芳孝(1957) 敦賀市池河内植物採集記 福井県博物同好会誌 (4): 42-44

- 今井長太郎 (1954) 敦賀郡池河内の植物について 二州文化財保護委員会
 石田昇三 (1969) 原色日本昆虫生態図鑑トンボ編 保育社
 井崎市左衛門 (1933) 福井県昆虫誌 蝶蛾の部
 ————— (1956) 福井県の蝶 (1・2・3) AKITU 5 ; 23-24 ; 47-52 ;
 85-86
 牧野富太郎 (1961) 牧野新日本植物図鑑 北隆館
 尾花 茂 (1969) ルリボシヤンマの分布を追って (1・2) Nature Study 15(1): 7
 -10 ; 15(2): 6-10
 大井次三郎 (1965) 日本植物誌頭花篇 至文堂
 下野谷豊一・福田久美 (1966) 福井県の鱗翅類雑記 福井県の生物 : 153-162
 白水 隆 (1965) 日本の蝶 北隆館
 渡辺定路 (1962) 池河内・大仏寺山採集記 福井県博物同好会誌 (9): 40-43

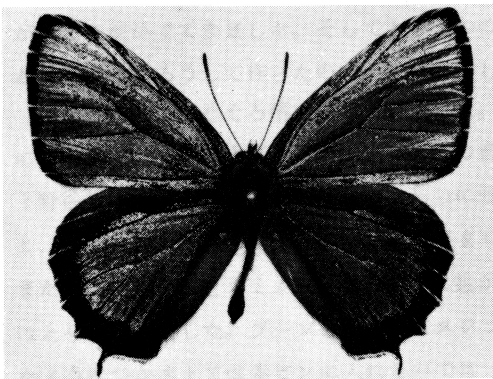
和泉村貝皿のメスアカミドリシジミ

長 田 勝

昨年6月下旬、大野郡和泉村貝皿へアンモナイト化石を採集に行った際、メスアカミドリシジミ (*Chrysozephyrus smaragdinus* Bremer) を採集したので報告する。採集地点は砂防ダムから沢ぞいに5分ほど歩いた林で、午前11時ころと午後3時ころ、ほぼ同一地点で採集した。化石を産出する沢の上部には残雪がみられた。

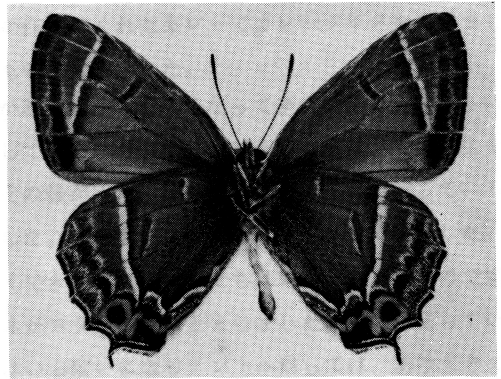
採集年月日 28 1974年6月27日

(Fig.1 左:表;右:裏)



(表)

Fig. 1



(裏)

標本は福井市立郷土自然科学博物館に保管してある。なお、県内のチョウの分布について御教示下さった下野谷豊一氏に感謝する。